

バーチャル ワイン テイastingイベントを開催

山梨県ワイン酒造協同組合

山梨県ワイン酒造協同組合（三澤茂計理事長 組合員 55 社）は、「バーチャル ワイン ティasting イベント」を 11 月 1 日（日）～ 11 月 22 日（日）の 9 日間で組合員 26 社の参加により実施した。

新型コロナウイルスの影響で、例年、東京の日比谷公園などで開催してきた試飲イベントや 2008 年から続けているワイナリーを巡り生産者と交流しながらテイastingやブドウ畑の景色を楽しめる「ワインツーリズムやまなし」が中止となり、山梨ワインの魅力や造り手の思いな

どを発信する場がなくなっていた。そこで、自宅から「Zoom」を通じて参加するオンラインイベントを組合事業として企画し実施した。

今回のイベント

では、参加協力してくれた県内外の酒販店 13 店で指定された銘柄のワインを購入したお客さまが QRコードで申し込むとイベント事務局から ID やパスワードが発給され、オンラインでテイastingイベントに参加できるようなる。イベント参加者は、ワイナリーの代表者等から原料となる葡萄やワイン醸造へのこだわり、ワインの楽しみ方などを自宅でくつろぎながら視聴でき、醸造家への質疑応答もできるため、これまで試飲会に参加するのが難しかった遠隔地からの参加者からは特に好評だった。

野沢副理事長は、「コロナの影響で試飲会等のイベントが中止となり、組合員各社とも非常に厳しい状況におかれている。組合としてオンラインイベントを企画したことで多くの組合員が参加でき、消費者に直接山梨の高品質なワインやワイナリーの魅力を発信できた。今後は、オンラインによる商談会も実施し販売拡大を図っていきたい。」とコロナ禍で販路開拓の手法を変えざるを得ない状況の中、オンラインイベントの手応えを語った。

